

平成 26 年度地域医療・介護連携推進事業 一関コミュニティFM (FM あすも) 番組  
放送日 : 平成 26 年 12 月 10 日 (水) 17 : 20 ~ 17 : 35 (塩竈一常 GET KING!!)  
(再放送 : 12 月 14 日 (日) 9 : 10 ~ 9 : 25 REFRESH!!)

「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」

第 11 回放送 県南広域振興局保健福祉環境部一関保健福祉環境センター  
(一関保健所) 大坊真紀子 管理福祉課長

(聞き手 : FM あすも 塩竈一常)

**塩竈** 「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」一関市では、高齢化が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療から介護への切れ目ないサービスを目指しています。このコーナーでは、医療機関や介護施設の役割、また利用方法などを医療・介護・福祉の関係者と私たち市民が、ともに理解、協力することを目的に一関市健康づくり課の提供でお送りします。

**塩竈** このコーナーとそして隔週でお送りしている「ちむぐりさん」のコーナー。いろいろな各地での取組などを聞いていると私たちの将来を支えていくための仕組みというのは、いろいろなどころで実は整えられつつあるんですね。ただ、その情報をしっかり私たちが知っているかという点とまだなかなかそういったところに目を向けていないという現状があったり、なかなかPRの力というのがそんなに多くなかったりということがあって、なかなか情報を共有するのが難しかったりということがあります。そんな最中で、是非みなさんに様々な取組などを知っていただきたいそんな思いを込めてこのコーナーを進めています。「みんなで育てよう地域医療～」のコーナー。今日は、一関保健福祉環境センター一関保健所管理福祉課の大坊真紀子さんにお話を伺います。そもそも、保健所とは一体どんな取組をされているところなのか。さらに、両磐地域など医療に関してはどのようなものというのが今求められていたり、課題になっているのかここをお話聞いていきたいと思っています。

**塩竈** 今日は一関保健所管理福祉課長の

大坊真紀子さんにお話を伺います。大坊さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

**大坊** よろしくお願ひいたします。

**塩竈** さて、まず初めにですね、この保健所、よく番組の中でも一関保健所からのお知らせ等というふうにお伝えすることがあるんですけども、どのような業務を行っているか、ここからまず改めて聞いていきたいと思っています。大坊さんお願いします。

**大坊** 一関保健所には管理福祉課、保健課、環境衛生課の3つの課があります。管理福祉課では、住民の方に安全安心な医療を提供するため、医療法に基づく病院・診療所の立入り検査ですとか、医療従事者の免許申請、各種医療統計、住民の方からの医療相談、地域住民の方に医療に関する情報を提供するためのセミナーの開催などを行っております。

**塩竈** 管理福祉課ではこういうお仕事をされているんですね。

**大坊** それから保健課では、健康づくり、疾病予防対策としまして、「脱脳卒中对策事業」をはじめとした生活習慣病予防の取組のほか、結核・エイズ・インフルエンザなどの感染症対策、精神保健、自殺対策、難病患者さんへの医療受給者証の交付などの業務を行っております。次に環境衛生課ですけれども、食品衛生、動物愛護管理、自然保護、廃棄物対策などの業務を行っております。それから、岩手県の保健所は広域振興局の保健福祉環境センターと2枚看板に

なっております、福祉関係の業務も行っております。一関保健福祉環境センターでは、配偶者からの暴力の相談や、ひとり親世帯への福祉資金の貸付、ひとにやさしい駐車場利用証の交付なども行っております。

**塩竈** いつも一関市のお知らせのコーナーなどで、それぞれの保健関連のお知らせをすることが多いんですけども、お問い合わせ先が、一関保健所までというふうに伝える場合が結構多いんですよね。本当に多岐にわたった分野での業務があるんだなっていうのが分かりました。さあ今日は「医療と介護の窓」ということで、このうち医療についてのお話を大坊さんに伺っていきたくと思います。まず、両磐地域の医療に関して課題になっていること、ここから聞かせてください。

**大坊** 一番大きな課題は「医療従事者の不足」です。医療施設での従事者数を、平成 23 年 10 月 1 日現在の人口 10 万人当たりの数値と比較いたしますと、医師は全国が 253.2 人、岩手県全体で 219.7 人ですけども、両磐は 181.2 人となっております、全国より 72 人、県全体より 38.5 人も少ない状況になっています。薬剤師や、放射線技師、理学療法士、作業療法士も同様に、全国や県全体に比較して少なくなっています。看護師については、両磐は 717.3 人ということで、全国の 633.7 人よりは多いんですけども、必要な人数には満たしていないという状況にあります。看護師は、特に首都圏で不足しております、岩手県の看護学校を卒業した看護師が他県の医療機関に就職してしまうといったことも多く、看護師の確保も全県的な課題になっております。地域住民の方々が身近な地域で安心して医療を受けられるようにするため、医療従事者の確保ということが大きな課題になっております。

**塩竈** なるほど。自分たちが医療を受けるために、まずはそこに従事されている方々の実態というのを知っておくのは、私たちには大事ですよ。現在、他の地域で仕事をしているお医者さん看護師さんたちに、人数がこの地域でも少

ないということで、やってきてもらう、引っ越してきてもらうというのはなかなか難しいでしょうから、となるとこれから免許をとる若い人たちというのがこの地域の医療機関を選んで就職してもらいたい、そういった感じに思いますね。

**大坊** はい。医療従事者の確保ということでは、この地域の子どもさんたちに医療職に興味を持っていただき、その方面の進路を選択する方が増えてくれれば良いなというふうに考えております。このため、保健所では、中学生を対象とした医療職講演会や、高校生を対象とした進路選択セミナーを開催しまして、医師、看護師など病院のスタッフの方からお話を聞いたり、病院内の見学や希望する職種の方とのフリートークなどを行っております。今年度は夏休みの期間ということで7月と8月に、市内の病院のご協力をいただいて実施しましたが、管内の中学校、高等学校からたくさんの生徒さんに参加していただきました。来年度においても実施していきたいというふうに考えております。

**塩竈** まずこれから免許を取る可能性のある若い人たちにこの地域の医療機関についていろいろ知っていただきたい。また、そのやりがいというのもそこで見つけてもらいたいなというふうに思うんですけども、この現状ですね、医療機関のスタッフの皆さんの負担というのは、お話を聞いていると、医療従事者が不足している体制の中では、だいぶ大きいというところもあるんじゃないですか。

**大坊** そうですね。この地域に限らず全国的な傾向としまして、仕事などの事情により、ご自身の都合の良い夜間など通常の診療時間外の時間帯に安易に医療機関を受診する事例がありますとか、症状が軽くても大病院を受診するという傾向がありまして、勤務医の方の業務の過重にもなっております。また、症状の軽い患者さんが大病院を受診することによりまして、大病院でしかできない治療を効率的に行うということに支障をきたしたりですとか、待ち時間が長時間になったりということがあります。大

病院と地域の診療所との役割分担による効率的な医療提供が行われるようにご理解をいただきたいと思います。

**塩竈** これまでお話を聞いてきているように、医療に関して両磐地域での課題というのは、何よりその医療に従事されている方が不足しているという現状がある。簡単にこれを変えていく、人数を増やしていくというのも制度上なかなか体制を整えていかなければいけないということ、いろいろあるんですけれども、すぐに今日明日できるということではなかなかいけません。となると利用する私たちも賢くこれを利用していく、いろいろ協力し合うというのがやっぱり大事になってくるわけですね。私たちが医療機関を受けるにあたって、望ましい方法というの一体どういったものがあるのでしょうか。

**大坊** 医療機関の受診の仕方ということになりますが、まずは身近なところに「かかりつけ医」をもっていただきまして、急病でなければ診療時間内にかかりつけ医を受診していただきたいと思います。また、時間外に受診する必要があるときには、まずは、夜間の6時から8時までと休日につきましては、一関市医師会で調整している夜間休日当番医を受診していただくようお願いしたいと思います。

**塩竈** この夜間救急当番医については、FMあすもでも平日夕方の時間帯などでお伝えしていますので、ぜひチェックしていただければと思います。

**大坊** でも、脳卒中や心筋梗塞など、直ちに入院や手術が必要な場合は救急外来を利用していただきたいと思います。限られた医療資源の有効かつ効率的な活用ということでご理解をいただきたいと思います。保健所といたしましても、県民皆で岩手の地域医療を支えるということで、一関市や平泉町、医師会などの関係機関と連携しながら、かかりつけ医の普及や救急医療の適正受診などについて意識啓発を継続して行っていきたいと考えております。

**塩竈** 症状に応じて、身近な診療所、それから病院の受診、使い分けるということが大事ということですね。さらにもともと病気にならないといえますか、予防が大事ですよね。

**大坊** そうですね。いちばん大切なことは、「自らの健康は自分で守ること」で、普段からの健康づくり、疾病予防だと思います。保健所では、地域の皆様の健康づくりを応援するために、「出前健康講座」を開催しております。保健所には、所長は医師ですし、保健師や、管理栄養士、薬剤師など、健康づくりに関する専門職員がおります。病気に関することや上手な病院のかかり方、食生活改善、心の健康、お薬のことなど、ご希望の内容で講座を実施いたします。

**塩竈** なるほど。こういう健康づくりに関する、例えば病院に行った時などに自分が受診する時に、ついでにこういうことも聞きたい、こういうことも聞きたい、いろいろ出てくる場合があるんですけれども、そうするとまた医師の方に伺ったりということもありますので、こういった保健所で開催している講座、これをまた地域ぐるみでも利用していくというのは良いかもしれませんね。出前講座というのは、保健所の職員の方々が依頼された方に来てお話してくれるということでしょうか。

**大坊** 一関市内又は平泉町内でしたら、職場、公民館などご希望のところに職員が伺います。費用につきましては、会場使用料がかかる場合のみ依頼者の側にご負担をいただきます。今年度は、保健所長による「上手な病院のかかり方」ですとか、「脳卒中予防に関する講座」、それから保健師による「こころの健康に関する講座」などを実施いたしております。

**塩竈** では受付先をぜひ教えてください。

**大坊** 電話かファックスで受付しております。電話番号は、0191-26-1415、ファックスは0191-26-3565で受け付けておりますので、ぜひお気軽にご活用いただきたいと思います。

**塩竈** この地域の医療体制を支えていくということの保健所では様々な取り組みが行われているということが今日は分かりました。ラジオを聴いていらっしゃる方、その地域ごとでセミナー、講座というのを利用するのはもちろんですし、例えば会社の中でも社員研修ですとかこういったもの行われる機会があるかと思imasるので、こういった時に、まちを支えていく取り組みについて改めて会社ぐるみで取り組むというのも良いかもしれませんね。今日は、一関保健所の大坊真紀子さんにお越しいただきましてお話を伺いました。大坊さん、貴重なお話しどうもありがとうございました。

**大坊** こちらこそ、ありがとうございました。

**塩竈** お聞きいただきましたように医療機関、また介護施設いろいろな分野での役割、また取り組んでいること、利用方法などをみなさんに聞いていただきました。このコーナーでは、こういった医療に関わっていらっしゃる方、さらに介護や福祉関係に関わっている方々、さらに私たちがともにいろいろな仕事であったり取組を理解、協力するというのを目的にお送りしています。地域医療体制の充実のため、私たちも積極的にこの取組に関わっていきましょう。「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」。このコーナーは、一関市健康づくり課の提供でお送りしました。